

1. クールジャパン戦略についての基本的考え方 (クールジャパン推進会議議長のメッセージ)

基本的考え方

『日本再発見。みんなの「いいね！日本」を世界へ。』

私が、安倍総理から、我が国初の「クールジャパン戦略担当大臣」に任命され、半年近くになろうとしています。この間、各分野における日本文化の第一人者である民間議員の皆さまのお力もお借りして、「クールジャパン推進会議」、そして「ポップカルチャー分科会」を開催し、各省庁も巻き込んで、みんなでどのように日本の魅力を強力に発信していくか、これをどのように経済成長に生かしていくかを考えてきました。そして、この度推進会議の民間議員である「7人のサムライ」及び分科会から熱のこもった提言をいただきました。

これらを受けて、クールジャパン推進会議議長である私から、これからのクールジャパン戦略についての「基本的考え方」と、これに基づく「アクションプラン」をお示ししたいと思います。

実は、私は「クールジャパン」と聞いて、アニメやゲームなど、若者を中心にした、いわゆるポップカルチャーに代表される非常に目新しいものをイメージしていました。もちろん、そうしたものが人気があり、目立ってはいるのは事実ですが、世界の人々が日本を「COOL!」と言ってくれるものの中には、例えば、元々は海外で生まれたケーキなどのお菓子が、丁寧な手わざがこめられて日本で進化したおいしいスイーツであったり、美しい日本の四季折々の景色の中で、おもてなしの心で癒される温泉旅館であったり、私たちにとってはごく当たり前の日常の中に、世界を惹きつけるストーリーに溢れたクールジャパンの種がたくさん眠っていることが分かりました。

つまり、クールジャパン戦略の核とは、一部の特別な人による、何か特別なものではなくて、私たちみんなが、今一度身近な「いいね！」と思う日本を再発見し、そこで終わりとするのではなく、世界に発信していく社会的な運動(ムーブメント)であると考えます。

現在は、インターネットを通じて、誰でも瞬時に世界とつながることができます。また、ツイッター、フェイスブック、ユーチューブなどを使って、誰でも自分の思う「クールジャパン」を発信することができます。

そこで、私は皆さんひとりひとりに「クールジャパン大使」をお願いしたいと思います。そして、オールジャパンで、クールジャパンを発信していきましょう。政府が上から目線で「これがクールジャパンだからよろしく」などとは言いません。そんな「官製クールジャパン」は誰も興味がないでしょう。むしろ、皆さんの「これが日本のクールです！」を応援していきたいと思います。そのためのイベントや、より効果的なPRのツールなどのきっかけづくりについては、私が旗振り役となつて、できることからどんどん行っていきたいと思っています。

クールジャパンという、世界を魅了し、愛されるたくさんの「お宝」を我が国の成長に生かさない手はありません。「このどこにも負けないデザインと品質のメイド・イン・ジャパンの子供服を世界の子供にも着てもらいたい」、「トーキョーに実物大のガンダムを観に行ってみよう。ついでにオンセンというところにも行ってみようか」というビジネスや観光など、様々なニーズを放っておいてはまさに宝の持ち腐れであり、ニーズに的確に responding していく仕組みづくりが必要です。

例えば、ファッションや日本食は世界的にその素晴らしさが知られてきている割には、比較的中小規模の事業者が多く、言語や商習慣の違いなどのリスクを考えると、簡単に世界に出ていくというわけにはいかないのも事実です。私としては、必要な情報、資金といったものを提供しながら、業種は異なれども、志を同じくする皆さんと一緒に世界に出ていけるようトータルコーディネートすることで、海外進出を促し、「世界で勝つ」お手伝いをしたいと思っています。

また、クールジャパンというものは、放っておけば泉のように湧いてくるものではありません。最先端技術を駆使したゲームやアニメでも、歴史が息づく伝統工芸や古典芸能でも、安心安全な日本食材を生かしたおいしい日本食でも、受け継ぎながら新しいものを創っていく、「伝統と創造」を実践する人材なくしては、私たちの先人が残してくれた遺産を使い切ってしまうことにもなりかねません。こうした未来のクールジャパンを担う優れた「人財」を育成する努力も怠ってはなりません。また、人財という意味では、世界にもっともっと日本のファンを増やす工夫も同時に行っていく必要があります。

我が国は、長い間、景気の低迷や政治の混乱などがあり、一方で高度成長期の日本を思わせる中国や韓国など新興国の躍進を目の当たりにして、「日本はもうダメなんじゃないか」と元気がなくなってしまっていました。

しかし、世界は私たちに「COOL!」と言って、日本の素晴らしさや、日本を愛し、誇ることの大切さを再認識させてくれました。今こそ、私たちは素敵な日本、かっこいい日本を見つけ・広めるムーブメントとして、力を合わせ、クールジャパンで日本も再チャレンジしていきましょう。

昨年末に安倍政権がスタートして、世の中の雰囲気にも明るさが出てきました。もう下を向いているときではありません。世界的な競争に打ち勝っていくためにも、前を向いて、スピーディーに取り組まなければなりません。

さあ、あなたの「いいね！日本」を世界に広めていこうではありませんか。

平成 25 年 5 月 28 日

クールジャパン戦略担当大臣
クールジャパン推進会議議長

稲田 朋美